

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①		目標②		得られた効果				A B C D評価				今後の展開・改善点等	備考				
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、事業資金融資等の金融相談、決算・確定申告の相談指導、労働保険等の相談指導、情報化支援相談、経営安定のための共済制度の促進など経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数589事業所 ・巡回窓口指導延件数1,338件 (うち創業支援2事業所2件) (うち非会員57事業所75件) ・課題解決提案件数33件 ・経営革新申請件数11件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 78.7%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 110.0%)		経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問、又は事業所に関する課題の相談など、小規模事業者が突発に困っている問題について親身になって相談指導を行うことにより経営改善に資することができた。				総合評価 A		自己評価 B	調査結果 A	満足度	補足	目標	持続化補助金等売上低迷の打破や補助金申請にかからず事業計画策定などの専門的な相談が増加してきており事業所に對する関心が高くなってきている。今後も気軽に相談できる支援機関として、周知PRに努める。
				目標数値	1700	実績数値	1338	目標数値	30	実績数値	33	個人で青色申告を選択している事業主を対象に、自前の記載の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ各種・事業所にあつた形で分かりやすく指導し、自ら記載することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がる。				総合評価 A		自己評価 A	調査結果 A	満足度	
記帳継続指導	記帳指導職員を中心に商工会の職員が、個人事業主を対象に正しい記帳方法や決算・申告の指導を行い、適正な税務申告と経理処理による経営力の向上に結びつけていく。	・指導対象者数 78人 ・指導延日数 501日 ・指導回数 814回	小規模事業者	指標	指導延回数 (達成度 116.3%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 %)		個人で青色申告を選択している事業主を対象に、自前の記載の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ各種・事業所にあつた形で分かりやすく指導し、自ら記載することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がる。				総合評価 A		自己評価 A	調査結果 A	満足度	補足	目標	税務署と連携し、記帳継続指導会のパンフレットを設置すると、新規開業者及び初めて青色申告を行うような事業者を中心に記帳継続指導会及び記帳機械化の事業者の就業を積極的に進めていく。
				目標数値	700	実績数値	814	目標数値		実績数値		個人で青色申告を選択している事業主を対象に、自前の記載の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ各種・事業所にあつた形で分かりやすく指導し、自ら記載することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がる。				総合評価 A		自己評価 A	調査結果 A	満足度	
講習会	経営に関する様々な問題解決に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識を習得することで、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	個別指導23回 受講者数128名 集団指導7回 受講者数144名 合計 30回 272名	小規模事業者	指標	講習会等受講者数 (達成度 159.1%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 %)		・経営に関する各分野に対する知識、情報等の取得 ・経営における技術指導による知識の取得、向上 ・経営に対する考え方の奥行きによる経営判断などの意識の向上 ・新たな分野に対する事業拡大への転換 ・個別なアドバイス				総合評価 A		自己評価 A	調査結果 A	満足度	補足	目標	小規模事業者の要望に沿った講習会を実施する。当面は、継続して実施する。
				目標数値	171	実績数値	272	目標数値		実績数値		個人で青色申告を選択している事業主を対象に、自前の記載の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ各種・事業所にあつた形で分かりやすく指導し、自ら記載することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がる。				総合評価 A		自己評価 A	調査結果 A	満足度	
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するため、経営実態・地域景気動向・消費者動向などを把握する調査事業を実施する。	調査研究(景況アンケート調査)を平成29年11月に実施し、159企業から回答を得た。 ①売上↑の増減 全業種合計 増加24.7% 減少22.0% ②経営状況 全業種合計 良い13.6% 悪い15.6% ③資金繰り 全業種合計 好転12.9% 悪化10.2% ④設備投資 全業種合計 予定あり27.0% 予定なし 73% その他項目あり	小規模事業者	指標	回答回収件数 (達成度 79.5%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 %)		「売上高」、「経営状況」、「資金繰り」、「設備投資」の4期を比較した結果、「資金繰り」は現状維持ではあるが、「売上高」、「経営状況」、「設備投資」については悪化傾向のポイントが増え、やはり厳しい状況にある。今回の調査結果を生かして、地域のニーズに沿った経営支援を行う事が出来た。				総合評価 A		自己評価 B	調査結果 A	満足度	補足	目標	昨年と比べると回答数が減ってしまっているため今回より多くの回答を頂けるよう、回収方法等を検討する。
				目標数値	200	実績数値	159	目標数値		実績数値		個人で青色申告を選択している事業主を対象に、自前の記載の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ各種・事業所にあつた形で分かりやすく指導し、自ら記載することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がる。				総合評価 A		自己評価 B	調査結果 A	満足度	
福利厚生事業	①定期健康診断・生活習慣病検診の実施 定期健康診断・生活習慣病検診の実施が、労働基準法・労働安全衛生法により義務付けられている。そうした中、特定健康診査・特定健康診査も導入され、事業主の従業員に対する健康管理責任が重くなってきている。商工会として各事業所の一助としてこの事業を実施するものである。 ②小規模企業者相互の交流と従業員間の交流を図り、雇用の持続的な安定と企業の健全な育成に資することを目的とする。	①10月30日、31日、11月1、2、3日の5日間で開催。(AM:8時30分～16時00分) ※3日は午前中のみ。 総受診者数:371名 ②親睦ボウリング大会 開催日/平成30年1月30日 ・参加者数/30名 ・会員親睦交流事業 開催日/平成30年1月17日 ・行き先/静岡県 三嶋大社 ・参加者数/66名	小規模事業者	指標	健康診断受診者数 (達成度 106.0%)		指標	参加人数 (達成度 68.6%)		①定期健康診断・生活習慣病検診を実施することにより、労働基準法・労働安全衛生法により義務づけられている法的遵守し、特定健康診査・特定健康診査の導入により、事業主の従業員に対する健康管理責任を達成することができた。 ②会員交流事業を通じて参加企業間の交流と従業員間の交流が図られ、企業の福利厚生面の充実が図られた。交流事業の初期については、好評で満足いく交流図られている。				総合評価 A		自己評価 A	調査結果 A	満足度	補足	目標	①一人でも多くの従業員が受診できるように開催日や時間帯などを工夫して(午前中開催日を減らすなど)今後も継続して開催する。 ②親睦ボウリング大会に関して、事業自体の需要がなくなってきたため、次年度は違う形で会員親睦事業を実施する。
				目標数値	350	実績数値	371	目標数値	140	実績数値	96	個人で青色申告を選択している事業主を対象に、自前の記載の仕方から決算書の作成に至るまでを、それぞれ各種・事業所にあつた形で分かりやすく指導し、自ら記載することにより経営内容を把握し、経営の安定化に繋がる。				総合評価 A		自己評価 A	調査結果 A	満足度	
労働保険事業	労働保険の各種手続きから保険料の申告・納付等、労働保険に関する煩わしい作業を、 ・3期ごとの保険料徴収及び納付 ・新規委託・委託解除手続き及び各種 ・特別加入に関する手続き	委託事業所数135件 ・労働保険料(概算・確定)の申告手続き ・3期ごとの保険料徴収及び納付 ・新規委託・委託解除手続き及び各種 ・特別加入に関する手続き	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 96.4%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 %)		労働保険に関する事務手続き及び納付手続き、雇用保険に関する事務手続きなど事業主の事務負担を軽減し労働保険料の納付を3回に分けることができた。				総合評価 B		自己評価 B	調査結果 A	満足度	補足	目標	経費削減のため自社にて手続きをする事業所が増えた。特別加入等事務組合のメリットを説明し少しでも委託事業所数を増やしていきたい。
				目標数値	140	実績数値	135	目標数値		実績数値		労働保険に関する事務手続き及び納付手続き、雇用保険に関する事務手続きなど事業主の事務負担を軽減し労働保険料の納付を3回に分けることができた。				総合評価 B		自己評価 B	調査結果 A	満足度	
雇用促進事業	優良従業員表彰事業は、永年にもわたり地域産業に貢献した企業の従業員で勤務成績が優秀であった他の模範となる者を表彰し、今後一層の勤務意欲高揚に資する目的で実施するものである。ひいては、事業所の発展につながるものである。	開催日/平成29年11月13日 ・尾張旭市長賞 3名 ・尾張旭市議会議長賞 2名 ・愛知県商工会連合会委員長賞 3名 ・愛知県商工会連合会東尾張支部長賞 4名 ・商工会長賞 30名 総合計 42名	小規模事業者	指標	被表彰者数 (達成度 70.0%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 %)		功績があった従業員を表彰することで、勤務意欲の高揚を図ることができた。				総合評価 B		自己評価 B	調査結果 A	満足度	補足	目標	従業員への定着や勤務意欲の高揚を図る為に今後も継続して実施する。
				目標数値	60	実績数値	42	目標数値		実績数値		功績があった従業員を表彰することで、勤務意欲の高揚を図ることができた。				総合評価 B		自己評価 B	調査結果 A	満足度	
部会・委員会	商業・工業・建設業などの各部会活動をを行い、参加企業の発展に資することを目標とする。	[幹事会・委員会等開催回数/延出席者数] 工業部会 5回/ 67名 建設業部会 7回/ 68名 商業部会 7回/ 78名	小規模事業者	指標	参加延べ人数 (達成度 96.8%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 %)		部会活動を通じて商工業者にとって有益となる諸事業の企画立案、実行し参加企業の発展に資することができた。				総合評価 A		自己評価 B	調査結果 A	満足度	補足	目標	今後とも、商工業者にとって有益となる事業を計画する。
				目標数値	220	実績数値	213	目標数値		実績数値		部会活動を通じて商工業者にとって有益となる諸事業の企画立案、実行し参加企業の発展に資することができた。				総合評価 A		自己評価 B	調査結果 A	満足度	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①		目標②			得られた効果		A B C D 評価							
				指標	達成度	指標	達成度	指標	達成度	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標
青年部・女性部	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資力の向上を図るための講習会や研修会を開催し、事業所の発展と振興を図る。また地域の発展に寄与する。	青年部 研修会 1回 12人 講習会 3回 48人 活動推進研修会 1回 8人 女性部 研修会、講習会 10回 144人 環境美化事業 3回 30人 地域振興事業 3回 43人	小規模事業者	指標 青年部講習会等の参加人数 (達成度 104.6%)	65	実績 数値 68	指標 女性部講習会等の参加人数 (達成度 120.0%)	120	実績 数値 144	研修事業を通じて、青年部員及び女性部員の資力向上を図る。また、地域振興事業等の実施により、地域社会の発展に寄与し、さらには、部員間の団結を深める。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足 一括アンケート回答数95件	目標 現状維持	研修事業を通じて、青年部員及び女性部員の資力向上を図る。また、地域振興事業等の実施により地域社会の発展に寄与し、さらには、部員間の団結を深める。
商店街・街づくり事業	地域の環境整備の一環として、市内の発展会等へ訪れる方に快適なショッピング環境を提供し、魅力ある街づくり、商業環境づくりを促進し活性化を図る。	街路灯管理 約500本の街路灯を維持管理し、店舗の広告宣伝及びライトアップによる防犯等地域貢献としての事業を実施した。	小規模事業者	指標 街路灯設置基数 (通電基数) (達成度 96.3%)	350	実績 数値 337	指標 (達成度 %)	街路灯設置することで、店舗管理としてのイメージアップ効果と事業所の看板を設置することで、事業所、発展会等のPRができた。 周辺を明るくすることで地域住民への防犯として役立てた。	総合評価 A	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 A	補足 一括アンケート回答数106件	目標 下げる	実施方法 実施方法	廃業や経費削減等の要因でスポンサーの減少が見られる。使用料の減額を検討し、新スポンサー確保につなげる。	
祭典事業	市民祭等を開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、販売市への来店により、小規模事業者に対し売上増加を具現し、市内事業所への広告宣伝・PRに役立てることにより地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	市民祭実施に伴う協賛及び販売市への出店 (10/14～15) 特別協賛:15企業 広告協賛:98企業 販売市(食の広場):21企業 販売市(買物広場):12企業 販売市(グルメコーナー):9企業	小規模事業者	指標 協賛数 (達成度 104.3%)	70	実績 数値 73	指標 出店者数 (達成度 97.7%)	43	実績 数値 42	特別協賛及び広告協賛することにより、一般市民への周知を図り事業所PRに繋げた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足 一括アンケート回答数113件	目標 現状維持	積極的に協賛していただけるような内容を工夫し協賛数を増やしてきたい。
産業活性化事業	尾張旭市内の企業を中心として、「特産品」と「商品開発」の研究を行い、新たな市場へチャレンジすることによって、企業の発展に役立てる。また、観光協会とタイアップして、地域の産業と観光産業の活性化を図る。また、観光振興事業として、市を訪問する観光客、市民の土産品の需要に応えるため、特産品を認定することにより観光産業に寄与する。	平成28年度末に行われた特産品審査会において、認定された特産品に対し、今年認定期間(4/29.4.～H31.3/31)に積極的に販売及びPRを行っている。 ・PR方法:イベント等でのリーフレット配布、ホームページ、広報紙への掲載 ・販売方法:イベントなどでの出店 特産品種類数:29	小規模事業者	指標 特産認定数 (達成度 100.0%)	29	実績 数値 29	指標 (達成度 %)	・市内外に対し、特産品の販路を拡大することで、売上げアップと利益還元に繋がった。 ・特産品を広くPRすることで、地域やお店の知名度を上げることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足 一括アンケート回答数106件	目標 現状維持	実施方法 実施方法	観光協会と連携し、特産品ガイドを作成・配布し幅広くPR活動をしていきたい。	
情報化推進事業	毎月異なる施策記事及び商工会内部の部会活動記事を中心として商工会だよりに掲載する。施策記事に関しては経営に役立て、部会活動記事については部会等の魅力を知っていただく。また事業所のPRや、地域振興事業に関係する記事も掲載する。	・商工会だより毎月発行・・・毎月異なる施策記事を掲載	小規模事業者	指標 発行回数 (達成度 100.0%)	12	実績 数値 12	指標 (達成度 %)	各種施策や補助金などについて会員事業所へ積極的に情報提供ができた。また、商工会の事業などについても幅広く知ってもらえた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足 一括アンケート回答数125件	目標 現状維持	実施方法 実施方法	現行どおり小規模事業者の役立つ情報を提供していく。必要に応じてページ配分を変更して、情報提供する。	
若手後継者等育成事業	1)経営計画作成研修 小規模事業者の若手経営者は日々の経営や生産に追われ、自社の経営分析や商情分析、長期的経営計画の策定などはほとんど行っていないのが実態である。この研修会を活用して事業計画の重要性を認識し、持続化補助金やもつくり補助金などの申請に活用して、事業発展の糧にする。 (2)商工会青年部全国大会参加 全国各地から青年部員が一堂に集し、各ブロックから勝ち上がった代表企業による主催者大会など開催により、今後の青年部活動の参考にす。また、交流会などで他県の部員などとの情報交換も可能であるため、今後の青年部活動の活性化と部員の成長に役立てる事を目的とする。	1)経営計画作成研修の具体的内容 講師(株)タナベ経営コンサルタント 開催時期:11月から12月で計5回の開催 参加人数:8名 対象者:市内若手経営者並びに後継者等 (2)商工会青年部全国大会参加の具体的内容 第19回商工会青年部全国大会への参加 開催日:平成29年11月21日(火)～22日(水) 開催場所:沖縄県立武道館(沖縄県那覇市奥武山町52) 参加者:青年部長1名、副部長2名	小規模事業者	指標 研修会参加者数(4回1セットでの研修会を行い、目標値は4回の平均参加者数とする) (達成度 53.3%)	15	実績 数値 8	指標 研修会参加者満足度 目標値(満足・どちらかといえれば満足の割合) (達成度 125.0%)	80%	実績 数値 100%	経営計画及び経営理念の必要性を実感していただき、今後自社の経営計画作成方法を習得して頂けた。	総合評価 A	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足 一括アンケート回答数99件	目標 現状維持	経営計画の作成研修会は今後必要であることから、参加者を増やせるように、内容を見直すと共に、周知方法等の多角化を図る。
創業支援事業	創業予定者に対してより専門的な支援を行っていくため、尾張旭市、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫と連携して支援体制を構築し、支援を行っている。	・ワンストップ相談窓口の開設 創業予定者相談回数 6件 ・創業セミナーの開催 5回 延58名(経営、財務、人材育成、販路開拓)	創業予定者	指標 ワンストップ相談窓口相談回数 (達成度 60.0%)	10	実績 数値 6	指標 創業セミナー参加者数 (達成度 116.0%)	50	実績 数値 58	創業予定者の掘起しができ、今後の創業に向けた支援をすることが出来た。 創業を支援する上で、他の支援機関と支援のネットワークを構築することができ、効果的な支援を行うことが出来た。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 B	補足 一括アンケート回答数100件	目標 現状維持	創業窓口のPRを行い、創業者の掘起しを行う。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。